

1. 略歴

- 1974年 3月 早稲田大学第一文学部演劇専攻学士
- 1976年 3月 早稲田大学大学院文学研究科芸術学演劇専攻修士課程修了
- 1982年 3月 早稲田大学大学院文学研究科芸術学演劇専攻博士課程退学
- 1981年 4月 早稲田大学文学部助手
- 1984年 4月 早稲田大学文学部専任講師
- 1987年 4月 早稲田大学文学部助教授
- 1992年 4月 早稲田大学文学部教授
- 2006年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

演劇学・舞踊学

c 概要と自己評価

研究の中心は、①鶴屋南北の研究、②歌舞伎の表現技法の研究、この二つである。①は、評伝という形で取り組んでいる。2016年1月に脱稿、2017年に白水社より出版の予定。②については、日本舞踊協会公演（2016年2月国立劇場大劇場）「文芸作品特集」の企画に参画、当日、舞台上で企画の趣旨説明を行った。

d 主要業績

(1) 啓蒙

- 古井戸秀夫、「松風物の系譜」、『NBF』45、2ページ、2014.1
- 古井戸秀夫、「流祖友五郎のこと」、『舞扇会』、2ページ、2014.7
- 古井戸秀夫、「隅田川物の系譜」、『NBF』48、2ページ、2015.7
- 古井戸秀夫、「名せりふと黙阿弥」、『歌舞伎座吉例顔見世大歌舞伎』、2015.11
- 古井戸秀夫、「日本舞踊略史」、『日本舞踊の照明』、4ページ、2015.12
- 古井戸秀夫、「海老蔵と歌舞伎十八番の復活」、『初春花形歌舞伎』、4ページ、2016.1

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、舞踊学会、常務理事、2014.4～2016.3

(2) 行政

- 日本芸術文化振興会、委員、2015.5～2016.3
- 大学評価・学位授与機構、委員、2015.5～2016.4

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

- 日本舞踊協会、理事・副会長、2014.4～2016.3
- 新日鉄住金文化財団、理事、2014.4～2016.3
- ポーラ伝統文化財団、理事、2014.4～2016.3
- 日本舞踊集団 21、理事・副会長、2014.4～2016.3
- 任意団体、日本舞踊花柳流、顧問相談役、2014.4～2016.3